

平成27年度 第6回 緩和ケア勉強会のご報告

今年度の第6回緩和ケア勉強会は、2月18日に開催いたしました。出席人数は44名、うち、院内11名、院外33名でした。

第6回目の今回は「家に帰りたい」本人と「家では看れない」介護者の思いを調整し自宅で最期を迎えられた事例の紹介、検討を行いました。

疼痛コントロールはついていたので、本人と家族の思いを聞き、介護者の負担を軽減するため、1人暮らしの在宅療養と考えた療養体制を整えました。さらに2週間の短期在宅療養として再入院する日を決め折り合いをつけることができました。在宅療養機関と病状や家族の思い、方針などの情報を共有して退院。その後状態悪化により数日で亡くなりましたが、家族は現状を受け入れて最期を迎えることができたとのことでした。ペットが最期まで本人を気遣っていたという訪問看護師さんのお話が心に残っています。

今回はアンケートでの感想を紹介させていただきます。

アンケート結果報告

- ・家族が“無理”だと言ってしまうと、本人の在宅の希望が叶わず、“無理”の方向に進んでしまうことがわかりました。言葉がけひとつで変わるんだなぁと感じ、自分の言動にも注意していきたいと思いました。
- ・2週間と限定（次回の入院を決めて）の退院という発信がよい提案であったのではないかと頑張れる状況を作った。
- ・家族の不安も自宅に帰りすべての人の関わりにより解消され、その人がその人らしくなれたことが良かったです。

勉強会の様子



次回の講演会：2016年3月17日（木） 18時～19時半
内容：施設での看取り

ご質問・ご意見ありがとうございました。今後もしばしばご意見をお寄せ下さい。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

地域医療連携センター FAX：0572-22-7948 緩和ケア内科 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp